Joy風
Faculty of Informatics
Shizuoka University Newsletter
Vol.26, April 2021
http://www.inf.shizuoka.ac.jp
April2021
vol.26
静岡大学情報学部

## 新学部長挨拶

### ピンチをチャンスに

令和３年度　情報学専攻長・情報学部長　笹原 恵

新入生の皆さんならびに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。コロナ禍で、一堂に会する入学式を行うことができず、誠に心苦しくまた残念に思っております。在学生の皆さん、そして在学生の保護者の皆様、ご進級おめでとうございます。平素より情報学部へのご理解とご協力をいただいていることに、心から御礼申し上げます。

昨年の４月の緊急事態宣言発出後、静岡大学ではすべてがオンライン授業になり、後期も語学や演習科目を中心に３割ほどが対面授業となったものの、多くはオンライン授業のままです。感染リスクを避けるためやむを得ないとはいえ、学生の皆さんにとって友達や教職員との対面を通した関係づくり、また何より実際にキャンパスに足を運び、「静大生」の一員であるという実感をもちにくい状況になっていることは誠に残念です。本学では、指導教員制をとっており、入学後から３年生の研究室所属まで授業や単位習得、学生生活のことなど幅広く相談できる体制（対面・オンライン）を整えておりますので、安心してご活用ください。

さて本学部は、日本の国立大学ではじめて設置された、情報学を専門とする学部です。コロナ禍において活用されている、さまざまなICT（情報通信技術）や、現在、話題になっているDX（デジタルトランスフォーメーション：デジタル技術やITを仕事や生活に使うことによってよい方向に変化させること）も私たちの教育研究領域の中にあります。その意味で、現在は大変ながらも、この問題を考える絶好の機会かと思います。

昨年度の授業アンケートでは、オンデマンド授業（授業資料を教員が作成して学内のサーバーにアップし学生がそれを自由に視聴できるやり方）は、自分の都合にあわせて繰り返し見ることができると好評だった一方で、やはり対面授業を望む声も少なからずありました。

本学部は、文工融合を旨とし、人間や社会と調和した情報通信技術や情報サービスを探り、新しい情報社会をデザインすることを目指しておりますので、コロナ禍の大変な状況であるからこそ、ICTの活用と対面コミュニケーションのバランスを考えるなど、現状を最大限に活かし本学部ならではの教育研究を探りたいと考えております。

教職員一同、初心に立ち返り、教育研究に励む所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 行事報告

Report of events

### 情報学シンポジウム２０２０

情報学研究推進室　西村 雅史

2017年に新講義棟落成を記念して始まった「情報学シンポジウム」ですが、今年度も情報学領域の研究に従事する大学院生、学部生、並びに情報学の研究を志す高校生に研究成果発表の場を提供することを主な目的として、12月25日にオンラインで実施しました。

今回のシンポジウムには学部４年生以上のシニア部門、それ以下のジュニア部門を合わせて計42件の応募があり、それぞれポスターセッションにおいて発表を行いました。なお、シニア部門の一部の発表者はポスターに先立ってあらかじめ撮影したビデオを用いた概要講演も行っています。また、情報学部教員の研究活動を広く知っていただくことを目的として、情報学シンポジウムと併催の形で、基礎研究活性化プロジェクト（S-Project）の成果報告会（発表13件）も合わせて実施させていただきました。

今年は新型コロナウイルス感染症対策の観点から現地開催を断念せざるを得ず、直接お会いしてお菓子やコーヒーをいただきながら交流を深めるこれまでのスタイルが取れなかった点はとても残念でした。ただ、学内のみならず県内の高校・大学、そして企業や一般の方々など、200名近い方々にご参加いただき、チャット等のオンライン機能も駆使して大変熱心に議論を行っていただきました。研究発表を実施した学生の皆さんにとってはとても良い経験になったものと確信しております。

発表終了後には参加者全員でWeb投票を実施し、優秀発表賞、概要講演賞、ポスター賞、挑戦的研究賞などの賞を授与しました。この他の特別賞を含む各賞の受賞者は以下のページに掲載されています。

https://www.inf.shizuoka.ac.jp/news/detail.html?CN=154525

最後に、発表者・参加者の皆様、実施に向けて協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。また、次回の情報学シンポジウム2021では、発表会場で実際に皆様にお会いできることを心から願っております。

# 新任教員の抱負

Aspirations of newly appointed faculty

## 越境するメディアと社会を眺めて

情報社会学科　郭 善英

昨年 11 月着任した郭善英（クァク・ソンヨン）です。韓国出身で、カナダと米国、日本の大学で学んだ経験を基に、ポップ・カルチャーやニュースなどメディア現象を国際的な視座から研究しています。

メディアの発展によって、海外のメディア・コンテンツに接する機会が増え、人と人との交流も活発になっています。一見、メディアのグローバルな流通は世界のメディア産業、コンテンツを同質化しているようにも見えますが、実際、海外コンテンツの受容やニュースの海外発信などの様子は国によって異なります。政治･文化的な背景やメディア産業の伝統、経済的な利害など、越境するメディアに影響を与える様々な要因に注目しながら、グローバルなメディア現象を調べていきたいと思います。

最近韓国では「成功したオタク」という表現が流行っています。趣味が仕事につながることを意味しますが、私の研究はまさに成功したオタクの道でした。学生の誰もが大学生活を通じて自分の好きな、興味のあるテーマを活かし、成功したオタクになれるよう指導していきたいと思います。

# 退職教員による情報学部の思い出

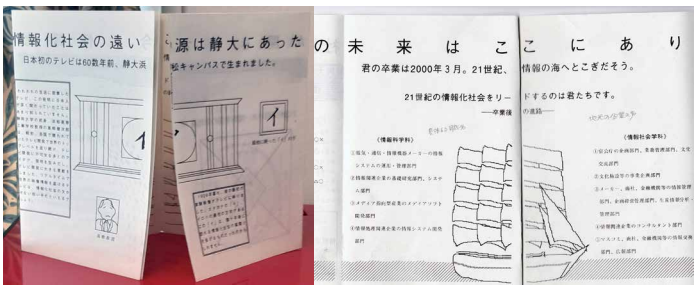
## 大切なことは（すべてではないけど）情報学部で学んだ

情報社会学科　森野 聡子

今から 25 年前、情報学部開設を前にわたしはマックに向かって、MOVE 創刊号の原稿をせっせと打ち込んでいました。コンピュータで仕事ができるようになったのはこうした広報の仕事のおかげです。

さて、1990 年代の情報化の波に乗って生まれた情報学部ですが、当時、情報学の学位をもつ教員は誰もいません。特に情報社会学科にとって、自分の専門と情報学をどのように結びつけるのかは大きな課題でした。そんななか誕生したのが学科教員による『情報社会の見える人見えない人：新しい情報学への道案内』（2000 年）です。わたしはコソボ紛争についての BBC の報道を分析しています。ウェールズの少数言語文化を専門とするわたしと情報学との接点を作ったのは学部の講義です。これまで自分が使ってきた記号論などの方法論がニュースや CM の分析にも使えると気が付いたのです。

ところで初代 MOVE は学部案内には珍しい縦書きで、活字びっしりの読み物を入れ、あえて雑誌風に作りました。情報化といった、当時は耳慣れない言葉を高校生や保護者の皆さんにじっくり説明したかったからです。でも現在の MOVE は横書きでシンプルな作りです。印刷物のページをめくるよりネットで検索する方が簡単に情報を得ることができるようになった、情報化の影響が広報手段にも表れているわけです。そして今、サイバースペースだけで社会は成り立たないこと、テレワークで代替できないエッセンシャルな仕事が数多くあることにわたしたちは改めて気づかされています。学部創設時のメッセージ「21 世紀の情報化社会をリードするのは君たちです。」を再び、皆さんに送ります。




手作り感満載の当時のリーフレット原案

## 情報の未来を語り合った静大ビジネスコンテスト

行動情報学科　湯浦 克彦

30 年近くの会社員生活を経て静大に着任したのは、情報学部が実践的な情報学のトップを走っていることに加え、浜松という街の明るさや優しさに惹かれたからでした。そこで学生たちが伸び伸びと活動し、能力を高めることができるようにしたい。そう考えていたところに、学生の一人が「ビジネスコンテストを開きたい」とやってきました。

彼女が目指したのは、地域の社会人がバックアップして、学生たちが競争して学ぶ環境を構築することでした。主旨に賛同する地元の経営者や参加学生を集め、約 1 ヶ月にわたり静大ビジネスコンテストを開催しました。以来、4 年生が主催し、3 年生以下が腕を磨くコンテストが 10 年間続いています。

コンテストは様々な参加者の物語を生みました。ホームシックでションボリしていた Y さんは、優勝したことをきっかけに逞しさを増し、今では自動車サービスの企画に活躍しています。空を飛ぶ夢を温めていた N さんは、貿易会社勤務を経て、航空管制官という職にたどり着いています。学生それぞれが、熱中して取り組んだ思い出と、自分の夢に向かう意欲を少し蓄えた秋のイベントでした。

第6回静岡大学ビジネスコンテスト(2016.11.17)

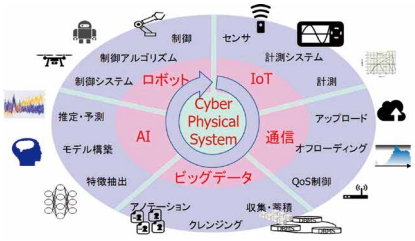
## 目標という道しるべ

総合科学技術研究科　情報学専攻　後藤 将弥

「そろそろ成長しないとやばい」。学部３年の研究配属を決める時期、私は自分が思っていたほど成長できていないことに焦っていました。そこで、自分が成長できる研究室を探して見つけたのが峰野研究室でした。峰野先生の「峰野研では世界初のことを研究開発している」という言葉に惹かれ、ここなら成長できると思い配属を希望しました。

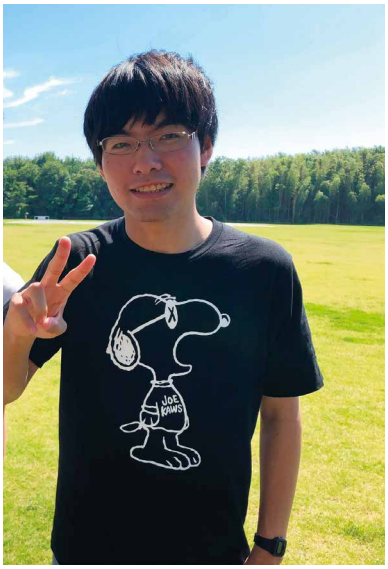
無事、峰野研究室に配属されましたが、配属してからは苦労の連続でした。人間的にも技術的にもまだまだ未熟であった私は、毎日のように先生や先輩から指導を受けていました。しかし、受けた指導を真摯に受け止め人間的に成長することができました。また、研究では IoT システムによるデータ収集からビッグデータ分析、AI による制御まで一連の技術を学ぶことができました。学生でデータ収集から AI による制御までやらせてもらえたのは非常に貴重な経験で、技術的に大きく成長することができました。その結果、学会での受賞や学長表彰、長年の目標であった企業に内定をいただくことができました。

ここまで諦めず自分の成長のために日々頑張れたのは、やはりなんとしてでも達成したい目標があったからです。「この企業に絶対入る」という揺るぎない目標が、自分は今何をしなければいけないのかを示す道しるべになり、目標だった企業の内定獲得へと導いてくれたのだと思います。



## 今しかできないこと

情報科学科　藤永 拓



大学生活の思い出はたくさんありますが、その一つにオリエンテーリング部での活動が挙げられます。簡単に紹介すると、地図で指定されたポイントを回る速度を競うスポーツです。そんな部に入部したきっかけは、部活勧誘のチラシを偶然見かけたからでした。他にも魅力的なサークルや部活がたくさんあった中でオリエンテーリング部を選んだのは、大学生の間でしかできないようなことをやってみたい、という気持ちからでした。入部後は、大会出場はもちろんのこと、他校との交流や大会運営など多くの経験を積むことが出来ました。

現在、私は須藤研究室に所属しています。指導教員である須藤先生らが考案された手法を拡張し、機械学習を用いた画像分類を効率化する研究を行っています。これは須藤研究室を選ばなければ決して出来なかった研究であると思います。大学はまとまった時間を取って勉強することやサークル活動に打ち込むことなど、社会に出た後では中々できないような学びが得られる場所であると思います。大学院進学後もそこでしかできないたくさんの学びを得られるよう努力します。

## 人間のパートナーとなる人工知能

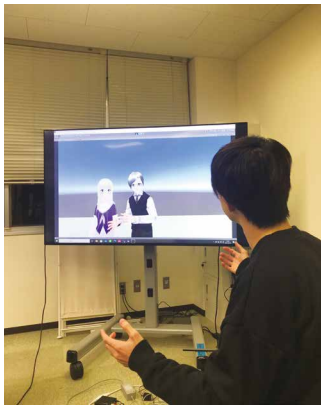
行動情報学科　木野 達也

ドラえもんのような友達が欲しい、そう思ったことはありませんか。

人工知能技術が発展し、人工物のパートナーであるエージェントが身近なものになりつつあります。例えば、エージェントがスマートフォンの画面の中に常駐していて、ユーザの要求を即座に返してくれるというものがあります。

しかし、現状の身近なエージェントは人間からの要求を聞き入れるという一方向のやりとりになっていることに着目しました。友達同士の普段の会話では、相互に趣向を言ったり、受け入れたりする過程があるおかげで、様々なことを思う、行動するのではないかという疑問を持ちました。

そこで、研究室では、人間がエージェントと双方向的にやり取りをするための研究に着手しました。そのために、人間同士はどのようにやり取りしているかという心理モデルを立て、それを実現するためにプログラミングで仮想環境を作り、人間とエージェントが相互にやりとりをする場面を実現させることができました。その過程でプログラミング、データ分析、人間の認知的構造を学ぶことができました。



## 大学生活で得た人との関わり

情報社会学科　山口 愛梨

私は奨学金を借りて親からの仕送りも無かったため、入学してすぐにいくつかのアルバイトを始めました。その中でも１年生の２月からずっと続けている喫茶店のアルバイトは車で旅行や毎月誰かの誕生日会をするなど学生同士仲が良く、仕事自体も楽しいため楽しく続けることが出来ました。先輩後輩の垣根が低いため仕事上でも気軽に声をかけることができ、改善した方がいいことなどを共有し合いました。

そして私の卒業研究では主に言葉の観点からディズニープリンセスの変遷をみる研究を行いました。やることは難しくは無かったのですが、かなり作業が多くとても大変でした。

それを支えてくださった田村先生には頭が上がらない程感謝しています。卒業研究に行き詰っているときはアルバイト先やゼミ室の友人が支えてくれました。大学に来たことで多くの人との関わりを持ち、お互い支え合い何とかここまで来ることが出来ました。コロナ禍で実家からの食料等の支援もあり、多くの人からの厚意を感じ取ったため、これからは受けた恩を返していきたいと思います。

# 2020年度　情報学部・総合科学技術研究科情報学専攻の就職・進学状況

Career choices of new graduates

情報学部キャリア支援室　椿 志保里

2020年度も情報学部と総合科学技術研究科情報学専攻では共に高い就職率を維持しています。2021年3月3日現在で、表のように学部では3学科平均で97.7%、研究科では96.5%の内定率となっています。引き続き、全員が希望の進路に進めるように支援しています。

| 学科・研究科 | | 卒業予定者数 | 就職希望者数 | 内定者数 | 大学院進学者数 | 内定率 | 進学率 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 情報学部 | 情報科学科 | 84 | 38 | 36 | 41 | 94.7% | 48.8% |
| | 情報社会学科 | 63 | 53 | 52 | 5 | 98.1% | 7.9% |
| | 行動情報学科 | 69 | 42 | 42 | 26 | 100.0% | 37.7% |
| | 計 | 216 | 133 | 130 | 72 | 97.7% | 33.3% |
| 総合科学技術研究科情報学専攻 | | 72 | 57 | 55 | 3 | 96.5% | 4.2% |

## 2018〜2020 年度学部・研究科卒業生の主な就職先

| 情報科学科 | 情報社会学科 | 行動情報学科 | 総合科学技術研究科情報学専攻 |
|---|---|---|---|
| 伊藤忠テクノソリューションズ | アイエイアイ | 内田洋行 | NEC |
| SCSK | 磐田市役所 | HBA | NTT |
| NEC | NEC ソリューションイノベータ | NEC プラットフォームズ | NTT ドコモ |
| NTT ドコモ | 遠鉄システムサービス | 大塚商会 | 遠州鉄道 |
| NTT フィールドテクノ | 静岡朝日テレビ | コーエーテクモホールディングス | 京セラ |
| 静岡銀行 | 静岡市役所 | 静岡新聞静岡放送 | KDDI |
| セイコーエプソン | 中部電力パワーグリッド | 島田市役所 | 小糸製作所 |
| ソフトバンク | トヨタシステムズ | スズキ | シャープ |
| TIS | 日本総合研究所 | 住友重工 | セコム |
| TOKAI ホールディングス | NEXCO システムズ | TBS グロウディア | デンソー |
| 凸版印刷 | 農中情報システムズ | デンソー | 電通国際情報サービス |
| 豊橋市役所 | 浜松いわた信用金庫 | 東海旅客鉄道 | 日本アイ・ビー・エム |
| 野村総合研究所 | 東日本高速道路 | トヨタシステムズ | 日本放送協会 |
| 日立システムズ | 富士市役所 | トヨタ自動車 | 日立製作所 |
| 藤枝市役所 | 本田技研工業 | トヨタ紡織 | 富士ゼロックス |
| 富士通 | 毎日新聞社 | 日本情報産業 | 富士通 |
| 三菱電機インフォメーションシステムズ | 三井住友トラスト・アセットマネジメント | 日立システムズ | 三菱電機 |
| ヤフー | 三菱 UFJ 銀行 | 日立ソリューションズ | ヤマハ |
| ヤマハ発動機 | 焼津市役所 | 富士通ソフトウェアテクノロジーズ | リクルート |
| 楽天 | ヤマハモーターソリューション | マクニカ | リコー |

3学科を通じて、情報通信業だけでなく、製造業、公務員、金融業など幅広い分野に就職しています。情報学部では、3年次でのインターンシップや就職活動ガイダンス等に加え、学生に対してきめ細やかな面接指導等を行っています。写真のi-JOB(informatics - Job Opportunity Base,就職資料室)では、就職に関する情報を公開しています。

i-JOB (informatics - Job Opportunity Base, 就職資料室)の様子

## 学生の表彰

**学長表彰**

**個人**　上山彩夏、安藤瑠祈、中村亮裕

**団体**　sawayaka-secA: 水野慎太郎、伴元輝、井田天星、鈴木伶哉

**専攻長表彰**　杉山慶多

**学部長表彰**　角田一星

**学位記受領代表**　角田 一星

**謝辞代表**　松本桃果、山田宗秀

**浜松工業会学習奨励賞**　竹内廉、芹澤歩弥、澤木大輔、山田宗秀、中島大晴

## 2021 年度　行事予定表

**2021年**

| | |
|---|---|
| 4月4日 | 入学式(代表者のみ, 静大TV配信)・保護者懇談会(オンデマンド型) |
| 4月5日 | ガイダンス　(〜 4月7日) |
| 4月8日 | 前期授業開始 |
| 4月17日 | 新入生歓迎スポーツデイ |
| 5月17日 | 全学一斉地震防災訓練 |
| 6月1日 | 静大創立記念日 |
| 7月26日 | 前期試験期間(〜 7月30日) |
| 7月29日 | TOEICテスト |
| 8月2日 | 夏季オープンキャンパス |
| 9月16日 | 集中講義(〜 9月30日) |
| 10月1日 | 後期授業開始 |
| 11月6日 | 秋季保護者懇談会・個別面談 |
| 11月6日 | テクノフェスタin浜松(〜 11月7日) |
| 12月23日 | 集中講義(〜 12月27日) |
| 12月28日 | 冬季休業(〜 1月3日) |

**2022年**

| | |
|---|---|
| 1月11日 | 授業再開 |
| 1月31日 | 後期試験期間(〜 2月4日) |
| 3月17日 | 学位記授与式(浜松) |
| 3月23日 | 学位記授与式(静岡) |

お問い合わせ
〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学情報学部事務局
TEL:053-478-1510・1511　FAX:053-471-0249
学務窓口 pr-gakumu@inf.shizuoka.ac.jp

Joy風 vol.26 April2021

情報学部のウェブページをご覧ください。

情報学部では、保護者・受験生・社会人・一般・企業の皆様向けに学部のウェブページを公開しています。最新情報が掲載されていますので、どうぞご覧ください。

https://www.inf.shizuoka.ac.jp/